

令和 元年11月19日



川西市議会議長 様

会派(呼称)名 川西まほろば会

議員名 松隈 紀文

管外調査報告書

このたび、管外調査をいたしましたので、その概要を下記のとおりご報告いたします。

記

1 調査者氏名 久保義孝 西山博大 秋田修一 磯部裕子 松隈紀文

2 調査先 香川県 丸亀市役所

3 調査期間 令和 元年11月 1日～

令和 元年11月 1日

4 調査概要

(1) 丸亀市におけるコンパクトシティ構想について

丸亀市で取り組まれているコンパクトシティ構想について丸亀市役所の担当者より別添の資料をもとに説明を受けた後、現地の視察をした。

丸亀市も少子高齢化の波は押し寄せてきており65歳以上の高齢者割合が2015年で27.4%となっている。そこで市は将来の都市構造イメージを実現すべく立地適正化計画を立て、市の財産である丸亀城と丸亀駅の間となる城下町の空間資源再生を軸とした地方再生コンパクトシティ構想を作り上げた。その中で老朽化が進む市役所と市民会館などを建て替えて集約し、さらには広場も併設する、市民が集える公共施設整備を2020年度を目途にすすめている。

丸亀駅から丸亀城をつなぐ場所に都市機能をまとめる計画で、市民の利便性向上は勿論のこと観光誘致にも大いなる効果が期待される内容だった。ただし、導線となる商店街の衰退が著しく、民と官の連携が今後重要になることも現地を徒歩にて視察することにより感じた。



丸龜市役所前



コンパクトシティ構想についての説明



建設予定の市役所（左）と市民会館（右）の立体模型



丸亀駅と市役所の間にある商店街